

# いわさ民報

社報民さわい  
第一三三號  
已除を日曜月但刊日  
第十二部一月五

## 謹賀新年

社長 野澤武藏  
社員一同

### 民生日本の確立へ

#### 今年各種選挙の総ざらい

今年各種選挙の公選を始めて、市町村長、市町村議員、参議院議員と相次いで選挙が行なはれ、衆議院議員も民衆運動の如何に拘らるべきかと、選挙の空気濃厚で、選挙の総ざらいといふべきである。県内を通じ市町村長は九割まで追放されて既に大部分は退職した、衆議院議員も現員中十数名追放組があり、市町村議員も大部分新顔を迎へることに、国内の民主化は先づ今年選挙から始まる。

### 市長候補争の人人々

#### 知事には石原現知事有力 縣議選は早くも混戦豫想

【縣知事】縣知事公選に現知事石原幹市郎氏立候補の聲が高き、協同黨代議士林平馬、自由黨代議士中野寅吉両氏も大いに意を動かして居るらしいが、決定的段階に至つて居ない。【参議院議員】参議院議員は本縣の定員四名と決定、全に有力候補である、問題は本人縣を選挙区とし、別に全國を地盤に「起意ありや」だが、地方民は盤とする候補者も同時に選挙する同氏の再出馬を希望して居る。

### 新年への希望

#### 野澤武藏

終戦三年の新春を迎へた。昭和二十一年は民主日本再建の基礎を爲す新憲法が制定され、吾等國民の進むべき方向を指示した意義ある年であつたが、「何事三度」といふ諺の意味から行くと、三年目の今年こそ、吾等國民はほのかな希望を抱けようである。何故ならば戦争指導者の多くは公職から追放された。新春早々縣知事始め市町村長、市町村議員、参議院議員が改選さ

【平市長】伊藤秀吉氏に相當の色氣があつたが、同氏は終戦前からの現職が禍ひて追放と決定既に辭職したから候補者が一人減つた、話題に上る鈴木辰三氏、進歩黨が中心となつて早くも擁立運動を行つて居るが、前代議士の肩書はあるといふながら年令的に多少難点があり、諸橋久太郎、關内正一兩氏の呼び聲も高い、然し大家の且那嶽である諸橋氏が市長に起つてきつづけたくないだらう。關内氏も又次期代議士選挙を狙つて居るだけに容易に御輿を

### 必至か

#### 議會解散は

【縣會議員】縣會議員は從來地方政界に相當貢獻したものでないといふ候補が困難であつた。【社會黨】社會黨は「今年こそ」と縣議選を夢見て居たが、地方の有力者は過半数追放され、豫想された顔負けは全く一掃されることになつた。平市長は定員二名に對し、市議金古政通、馬目武之助、大内近雄、神谷兼次郎の四氏が話題に上つて居る。金古氏は關内派が推し、馬目氏は進歩の陣營に據る、大内氏は社會黨から、神谷氏は星派が擁立、四巴戦を展開されることにならう。石城郡は定員一名増し七名となつた爲、候補者にとつては當りが良く成つた譯だが、郡内が廣いだけに多士済々、定員二倍に當る十四、五名は出

れ、新しい指導層に依つて文化國家建設が進められるのである。世界の情勢又來る夏を待たずして日本の平和會議開催を報じて居り、混亂した經濟の安定を基礎づける貿易が遂からず再開されるのである。然し、一方に於て斯る吾等の希望と相反する經濟危機が刻々通過して居ることを銘記せねばならぬ。曰く「電力減産、石炭減産、鐵鋼減産」基礎原料の激減に加へ、ストツク原材料も喰ひ盡し、あらゆる産業が窒息に類し、悪性インフレーションの虞れがある。更に賠償機械の撤去は失業者を

員の二倍に當る十四、五名は出氏を推すものもあるが、この四氏中では關内氏が尤も有力視されて居る。現在平市に居住して居ないが元平市で辯護士を開業して居た古田統制會社の専務理事松野尾繁雄、草野村出身朝日新聞社編輯局長高野眞の兩氏も噂に上つて居る。現職の諸橋久と兩氏のうち何れでも市長に成る意志ありとせば市民は双手を挙げて迎へるべきであらう。中央で全國に號令をかけるに人材だけに一寸望み薄しといふ處であらう。

## 謹賀新年

釜屋商店 平市五丁目 電九・九九	横山彰介商店 平市三丁目 電六	坂本紙店 平市一丁目 電一・八	丸ほん商店 平市三丁目 電三・五九	大屋商店 平市二丁目 電一・三	マルトモ書店 平市四丁目 電三・三四	マルトモ食堂 平市四丁目 電三・三四	鱗與支店 平市四丁目 電四・〇一	いづみや商店 飯沼林一郎 平市駅前電三四八	さかいや百貨店 同前 平市六丁目電四八五	小野藥局 平市駅前 電一・四四	茂木カメラ店 平市三丁目 電三・三	金光堂 平市五丁目 電一・九五	釜屋商店 平市五丁目 電九・九九	横山彰介商店 平市三丁目 電六	坂本紙店 平市一丁目 電一・八	丸ほん商店 平市三丁目 電三・五九	大屋商店 平市二丁目 電一・三	マルトモ書店 平市四丁目 電三・三四	マルトモ食堂 平市四丁目 電三・三四	鱗與支店 平市四丁目 電四・〇一	いづみや商店 飯沼林一郎 平市駅前電三四八	さかいや百貨店 同前 平市六丁目電四八五	小野藥局 平市駅前 電一・四四	茂木カメラ店 平市三丁目 電三・三	金光堂 平市五丁目 電一・九五	飯野八幡神社宮司 飯野盛男	平市役所 市長代理 佐藤信雄	小田吉治 石城郡好間村	三井榮一 平市十五丁目	小澤專七郎 千葉縣市川市野野二六	諸橋久太郎 平市五丁目	關内正一 平市二丁目	市會議長 萩原義雄 副議長 永山勇吉	蓮沼龍輔 平市	石城郡内金融團	片倉工業株式會社 平製糸所 平市三倉 電八・八二	三幸建設工業株式會社 平支店 平市三倉 電一・一一	磐城土建株式會社 平市小太郎町 電五・九	平地區統制組合 平市紺屋町 電六四九・八〇四	福島産業有限會社 平市五月町 電六七〇・七六二	共榮合作社土建興業所 平市月見町 電五三・六
------------------------	-----------------------	-----------------------	-------------------------	-----------------------	--------------------------	--------------------------	------------------------	-----------------------------	----------------------------	-----------------------	-------------------------	-----------------------	------------------------	-----------------------	-----------------------	-------------------------	-----------------------	--------------------------	--------------------------	------------------------	-----------------------------	----------------------------	-----------------------	-------------------------	-----------------------	------------------	-------------------	----------------	----------------	---------------------	----------------	---------------	-----------------------	------------	---------	--------------------------------	---------------------------------	-------------------------	---------------------------	----------------------------	---------------------------

市内常設映話館の初春興行は、絢爛美を誇る名畫だけに相當の賑ひを豫想されている。警察館では、梅をどり、五十三次、平館、うたかたの戀、世界館、カサ、ブランカ、等で、民衆劇場でも特別興行として三十一日から二日迄、大映スタジオ、大倉千代子、尾上華文一行の實演(大人十五圓、小人五圓)をはじめ三日には大奇術、人間電氣、一座、四日から七日まで四日間、ロッパ一座の人氣者大國八郎一行と神風ダンスチーム、シルバレー樂團を招いての合同オペレートの、いづれも大人十圓(小人五圓)を開く、尙各館とも午前十時から開場午後九時まで營業を續ける。

初春興行

謹賀新年

第一通信工業株式會社  
平土地住宅有限公司  
社長 正木昌次郎  
平市田町五(電二〇二九)

日本アンプル東北工場  
平市五丁目(電六六)

佐藤 幸太郎  
平市四丁目

足助 重雄  
平市田町

計理士 桑原 徹  
平市揚土(電八一五)

小名濱町役場

湯本町役場  
品川白煉瓦湯本工場  
工場長 服部 梅雄

磐城通運株式會社湯本支店

平藝妓屋組合  
組合長 白土喜伯

平料理屋組合  
組合長 松本傳長

割烹 越の家  
平市二丁目(電八八九)

割烹 谷口樓  
平市二丁目(電八)

割烹 大 貞  
平市田町(電四一三)

割烹 松本樓  
平市南町(電一三)

甲陽館  
平市田町(電一四八)

聚樂館  
平市一丁目(電四七〇)

世界館  
平市白銀町(電五八)

平館  
平市南町(電四六六)

民衆劇場  
平市紺屋町(電九二〇)

麻雀一萬莊  
平市一丁目(電九二〇)

麻雀平和莊  
平市田町(世界館隣)

山崎時計店  
平市五丁目

京屋染工場  
平市南町大通り

福島屋商店  
平市一柳町

佐藤正次郎商店  
平市仲町(電九二六)

遠藤製繩店  
内郷町小島(電九二二)

水野自動車修理工場  
水野二一丁目

水野化粧院  
水野冬子  
平市藤前(電六七八)

山野邊製繩工場  
平市七丁目(電九一九)

敷島テント商店  
平市六丁目

山吉商店  
平市四丁目(電二六八)

湯本協同生活組合  
理事長 鯨岡 潔

湯本郵便局長  
鯨岡 實

湯本天王崎郵便局長  
小泉 義浩

仙臺屋洋品店  
湯本町(電四四)

湯本理容組合  
平警察管内  
湯本日用品交換所  
湯本町表町

四ツ谷酒店  
大井川榮重  
湯本町(電二二)

熊田自轉車店  
湯本町上町(電一四三)

福島縣竹製品統制組合  
石城支部長 馬目五郎

海外引揚者磐城聯盟  
湯本支部

湯本協同組合  
鮮魚小賣販賣組合

磐城漬物株式會社  
社長 比佐賢司  
湯本町桑田(電五五)

小名濱町警防團  
團長 御代龜太郎

小名濱漁業會  
御代龜太郎

江名漁業會  
黒川喜一郎

四倉漁業會  
長谷川長太郎

小名濱操網組合  
組合長 三 代 義 勝

江名造船所  
江名町江ノ浦(電一六二)

小名濱造船所  
小名濱町(電一九五)

富ヶ浦病院  
小名濱町(電三三)

SP商會 橫山 徳男  
平市振盪小路(電八九八)

平板金製作所  
平市大町(電七七三)

古川鐵工所  
平市銀治町(電九〇四)

常磐製粉工業株式會社  
湯本町(電四七)

福島無盡金庫湯本支店  
湯本町(電四七)

常磐物産株式會社  
湯本町(電二七)

食糧營團湯本出張所  
所長 新 妻 稔

湯本地區配給統制組合  
理事長 吉 田 恭 平

湯本丸公魚市場  
所長 庄 司 濱 吉

常磐炭礦株式會社  
磐城礦業所  
湯本町(電八四〇・五七七)

東北配電株式會社  
平營業所  
平市五丁目(電八六〇)

株式會社 平製作所  
社長 鈴木 賢二  
平市堂の前(電四一)

會社 佐藤鐵工所  
佐藤 源 吉  
平市月見町(電三六二・七三)

東和動力株式會社平出張所  
所長 馬場 麻佐吉  
平市下河原

東北硝子馬目工場  
馬 目 精  
平市五丁目(電九八七)

古川興業有限會社  
平市南町(電四一)

石城海產物市場  
平市大町(電四〇七)

國際電球製作所  
平市新川町

平製氷株式會社  
平市五丁目(電六三四)

平木工產業會社  
平市仰町(電七七四)

新星硝子工業株式會社  
平市仰町(電七一四・四一九)

新星藥品工業株式會社  
平市大町

星製藥株式會社福島工場  
平市五丁目(電六八八・三五一)